

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市体育協会のNPO法人化について（50分）</p> <p>鶴ヶ島は、昔、陸上王国といわれ、現在60歳代以上の皆さんが大活躍していたと聞き及んでいます。そして、昭和26年5月に設立された鶴ヶ島町体育協会が、今年63年目を迎えました。</p> <p>これまでに各種競技・団体スポーツの活躍、普及とともに、市民スポーツの振興、向上のため鶴ヶ島市体育協会の存在があります。</p> <p>また、鶴ヶ島市体育協会では、平成25年12月8日（日）に開催した「臨時評議員会」及び「NPO法人設立総会」において、NPO法人への移行についての議決を行い、現在、NPO法人の所轄庁（埼玉県）に設立認証申請を行っているとのこととあります。</p> <p>体育協会の加盟団体（スポーツ団体、支部団体）への法人化に向けた中間報告があったのは平成25年10月22日の理事会であり、翌月、11月27日の理事会にて法人化への審議、この会議で始めて定款が示されたと聞き及んでいます。そして、平成25年12月8日に臨時評議員会及び設立総会が行われています。このように短期間での法人化への移行に加盟団体の体育協会の担当理事、評議員の殆どが理解の無いなか、また、団体や各種団体間での協議や審議の無いなかで成り行きで会議に臨んでいたと思われまます。</p> <p>私は、NPO法人化に決して反対するものではありません。寧ろ各種団体が議論を尽くしてそれぞれの団体や市民スポーツ発展のために体育協会に協力をするという土壌づくりの中で法人化に移行して欲しかったと思っています。</p> <p>また、市議会に体育協会のNPO法人化について説明があったのは平成25年12月13日の第4回市議会定例会の全員協議会であり全く寝耳に水でありました。その後、議長の取り計らいで平成26年1月23日の政策説明会で鶴ヶ島市体育協会のNPO法人化と市の補助について、平成26年2月5日の全員協議会にて鶴ヶ島市体育協会のNPO法人化に伴う加盟団体の状況について説明がありました。多額の市の補助金を有する法人化への予算審議を伴う今議会への対応が遅きに失するのではないかと疑義が生じていることは否めません。</p> <p>何故この時期に、しかも関係団体への十分な周知が無いなか短期間での法人化への道を選択されたのか、これまでの経緯と在り方、今後の展開、見通しについて質問します。なお、理事会、評議員会等、各会議での出席者数・出席率も求めます。</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>